

伊勢税務署長あいさつ

伊勢税務署長

ぬま た よし ゆき
沼田美之 氏



この度の人事異動で、伊勢税務署長を拝命いたしました沼田でございます。着任にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

公益社団法人伊勢法人会の会員の皆様方には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素から税務行政に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

私にとりまして、伊勢税務署は昭和62年～63年に勤務して以来、約30年ぶりの勤務となります。当時は税務署に入って2署目の調査官であり、法人の調査の仕事に従事しておりましたが、その頃のことが大変懐かしく思い出されます。

伊勢税務署管内は、自然が豊かで山海の幸にも恵まれた地域であるとともに、伊勢神宮に代表される歴史と伝統に育まれた全国屈指の地域であると思っています。また、本年5月にはG7の首脳が会した「伊勢志摩サミット」が開催された地であり、伊勢志摩地域が国際的にも注目されている中、皆様方と接する機会を得られましたことを大変嬉しく思っております。

さて、貴法人会は、よき経営者を目指す方々の団体として昭和28年に設立されて以来、60余年の長きにわたり着実に歩みを続けられ、会員を対象とした研修会や様々な税の啓発活動等を通じて会員企業と地域社会の健全な発展に大きく貢献されていると伺っており、税務行政に携わる者として大変心強く思っております。法人会の役員の方々をはじめ、会員の皆様の永年にわたる熱意とご尽力に対し、深く敬意を表する次第であります。

ところで、最近の税務行政を取り巻く環境は、経済活動の国際化、ICT化の進展、事務の効率化の要請などにより大きく変化しております。

このような状況の中、本年1月から「社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）」がスタートしました。国税庁が法人番号の付番機関となるとともに、個人番号及び法人番号の利活用機関となることから、番号制度の理解が高まるよう、引き続き、法人会の皆様のお力添えをいただきながら、積極的な周知・広報を実施してまいりたいと考えております。

また、「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」という国税庁の使命を果たすため、皆様方のご理解の下、納税者の利便性を高める申告・納付手段を充実させるなど納税者サービスの向上に努めるとともに、納税者の利益の保護を図りつつ悪質な納税者には厳正な態度で臨むなど、適正・公平な調査・徴収を行うことが重要であると考えています。

これらは法人会の皆様方のご理解とご協力なくしては、成し得ないことであります。引き続き、税務行政につきましてのご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びにあたりまして、公益社団法人伊勢法人会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝並びに主宰企業のご繁栄を心から祈念いたしまして、私のあいさつといたします。